



新一万円札発行 カウントダウンプロジェクト 事業報告書



北区

ご挨拶

新一万円札発行カウントダウンプロジェクト推進協議会 会長 越野 充博

2019年新一万円札に渋沢栄一の肖像採用決定をきっかけに、北区役所が企画した「東京都北区渋沢栄一プロジェクト」は「大河ドラマ「青天を衝け」活用推進協議会」「飛鳥山活用推進協議会」などの活動を通じ、北区役所と民間団体が智慧を出し合い、地域の付加価値の創造に向けてともに歩みを進める「公民連携」の事業に育ちました。

「新一万円札発行カウントダウンプロジェクト」は、さらに2024年7月3日の新札発行に向けた集大成として企画されたものであります。本プロジェクトの事務局となった「北区役所しごと連携担当室」は、あたかも明治政府で渋沢が組織した「改正掛」のごとく庁内、北区内を獅子奮迅で走り回り、大きな成果をあげました。さらに北区と地域内他官庁との「公公連携」も進み、さまざまなチャンネルが有機的に結合し、北区発展に寄与していくベースを築くことができたと自負しております。これも関係各位のご尽力、応援の賜物と深く感謝申し上げます。



ご挨拶

北区長 やまだ加奈子

「近代日本社会の父」渋沢栄一翁は、北区に居を構えて企業の創設・育成に力を入れるとともに、民間外交や社会福祉、教育への支援に尽力し、北区から日本を導いてきました。また、西ヶ原にある国立印刷局東京工場ではお札の印刷を行っており、北区は渋沢翁ゆかりの地であると同時に、「お札が生まれるまち」でもあります。

「新一万円札発行カウントダウンプロジェクト」は、北区と関連する企業、団体、自治体みんなが連携し、取り組んだものです。本プロジェクトでは、より多くの区民の方々が地域への誇りや愛着の形成に繋げてくれるとともに、周辺の商店や商店街の活性化に繋がることを願って、全国初となる渋沢翁の名前を冠した道路「渋沢通り」の愛称設定をはじめ、100近くの事業を公民連携で実施しました。

これからも、変化を恐れなかった渋沢翁のチャレンジ精神に倣い、公民連携で実施した本プロジェクトを契機として、人やアイデアが集まる自治体を目指すとともに、区民の方々が北区を愛し、北区の価値を共有する「ファン」になっていただけることを目指していききたいと思います。



※本事業報告書で使用されている白い実線の長方形は、一万円札の比率で作成しています。

目次

I. 渋谷栄一と北区----- P.1

1. 渋谷栄一と北区のつながり----- P.2

2. 渋谷栄一プロジェクトとは----- P.3

3. LOVE LIVE LEADとは----- P.4

II. 新一万円札発行カウントダウン

プロジェクト推進協議会について----- P.5

1. 目的----- P.6

2. シンボルロゴ----- P.7

3. 組織図----- P.8

4. 協議会メンバー----- P.9

5. 協議会開催実績----- P.10

III. 本プロジェクトの取組み----- P.11

1. カウントダウンプロジェクトのあゆみ----- P.12～

2. 主な取組み----- P.15

3. 公民連携----- P.24～

4. 協力企業----- P.47～

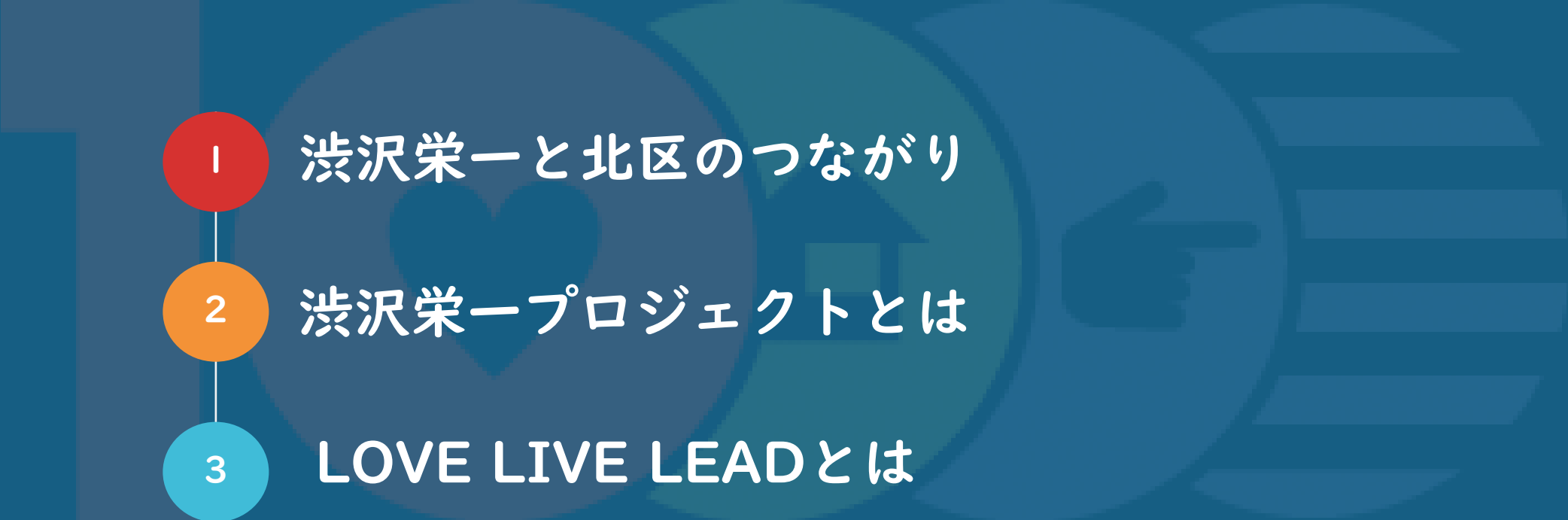
5. 庁内連携----- P.51～

6. 情報発信----- P.66～

IV. メディア掲載実績----- P.69～

V. 総括----- P.75

I. 渋谷栄一と北区

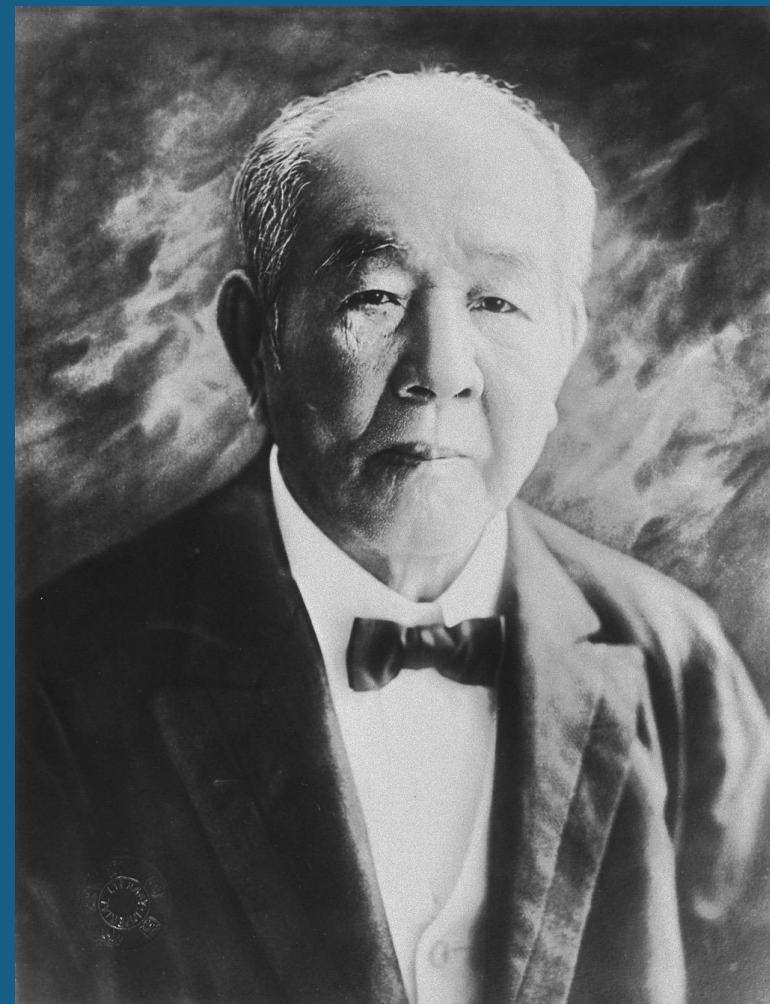
- 
- 1 渋谷栄一と北区のつながり
 - 2 渋谷栄一プロジェクトとは
 - 3 LOVE LIVE LEADとは

I-1. 渋沢栄一と北区のつながり

渋沢栄一翁と北区との直接的な関係は、渋沢翁が明治7(1874)年に抄紙会社(後の王子製紙株式会社)の工場地を選定したことから始まった。明治12年(1879年)、渋沢翁は王子製紙工場を見晴らすことができる飛鳥山地続きの土地に、別荘(飛鳥山邸)を構える。飛鳥山邸は渋沢翁の生活の場としてだけでなく、国内外の来賓を迎える、民間外交の場としても重要な役割を担っていた。

渋沢翁は、61歳から飛鳥山邸を本邸として、およそ30年間過ごした。時を重ね、よりいっそう円熟していく渋沢翁を祝福し、喜寿(77歳)のお祝いの際に清水組(現・清水建設株式会社)から洋風茶室・晩香廬が、傘寿(80歳)および男爵から子爵に昇格した際に、竜門社(現・公益財団法人渋沢栄一記念財団)から青淵文庫が贈られた。

現在、邸宅跡地の庭園は飛鳥山公園の一部として開放されている。



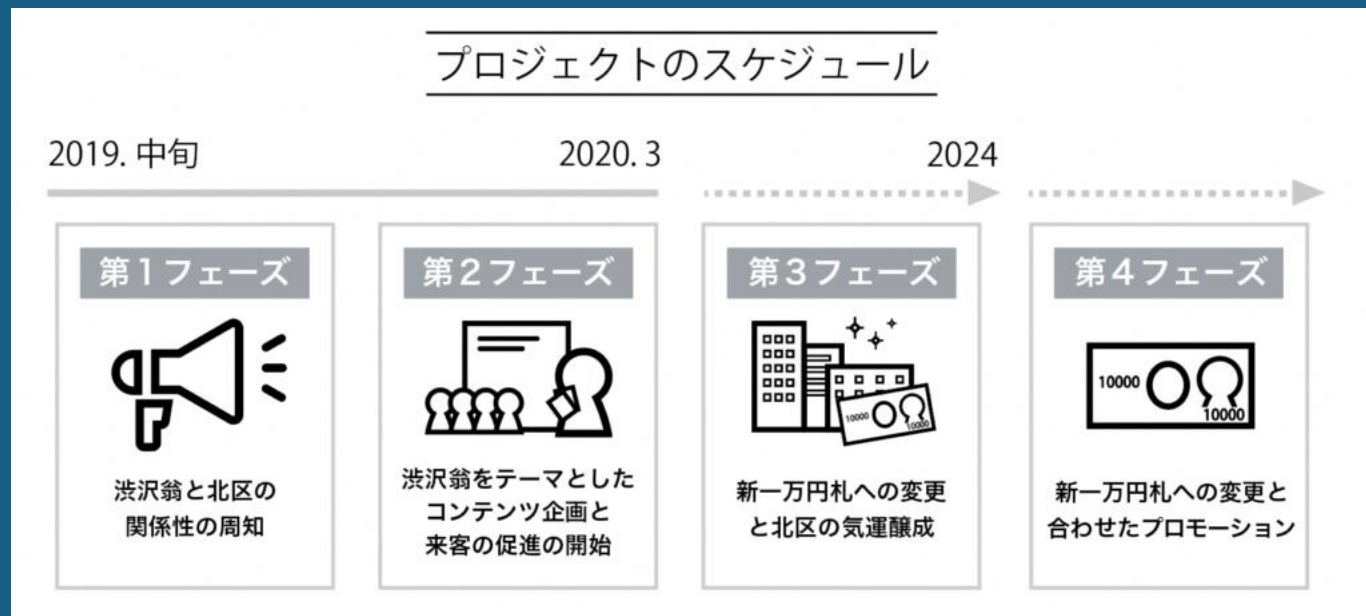
出展：近代日本人の肖像

I-2. 渋沢栄一プロジェクトとは

概要

平成31(2019)年4月9日、財務省が令和6(2024)年に紙幣を刷新することを発表し、新一万円札の肖像に北区ゆかりの渋沢栄一翁が選定された。令和元(2019)年5月以降、北区では新紙幣発行までの機運を高め、渋沢翁の功績や渋沢翁を核とした北区の魅力を広く発信することにより、北区を盛り上げていくことを目的に「東京北区渋沢栄一プロジェクト」を立ち上げた。そして令和6(2024)年7月3日の発行開始までの間を「新一万円札発行カウントダウンプロジェクト」と位置づけ、区をあげて盛り上げてきた。

渋沢翁が残した教えや考え方をベースに、北区と様々な民間企業等との公民連携の体制でのプロモーションによるブランディングを行い、北区を新たな時代へ導いていく。



I-3. LOVE LIVE LEAD とは

プロジェクトのキャッチコピーは、「LOVE LIVE LEAD」。北区を愛し(LOVE)、北区に居を構え(LIVE)、日本を導いていった(LEAD)渋沢栄一翁の精神を受け継ぎ、今を生きる私たちも北区をもっと好きになり、北区を盛り上げていこうという願いを込めている。

LOVE 渋沢栄一が愛した北区

明治8(1875)年、渋沢栄一が設立に尽力した抄紙会社(製紙会社を経て王子製紙株式会社)の王子工場が操業を開始した。その後、明治12(1879)年に飛鳥山に別荘を構えた。国内外から賓客を迎えることが多くなった栄一は、郊外の広い堰堤を備えた邸宅が必要であると考えたため、都心から離れ自然豊かな飛鳥山は、理想の場所であった。栄一は、のちにこの地を家族と過ごす日常の生活の場としても使用し、飛鳥山をこよなく愛した。

LIVE 渋沢栄一が住んだ北区

明治34(1901)年、栄一は別荘として使用してきた飛鳥山邸を本邸とし、亡くなるまでの生涯を飛鳥山で過ごした。現在では、国の重要文化財に指定されている大正期の2つの建物、「晩香廬」と「青淵文庫」が当時のままの姿で残っている。

LEAD 時代を導く拠点とした北区

栄一の飛鳥山邸は単なる私邸にとどまらず、多くの賓客を迎える接待の場としても利用された。

また、栄一は、日本の近代経済社会の発展に尽力していくなかで、王子・滝野川地域への助言や寄付なども行い、飛鳥山邸で地域住民を招いて園遊会などを開催して親睦を深めるなど、地域の発展や人々との交流も大切にした。

LOVE
LIVE
LEAD
渋沢 × 北区

Ⅱ.新一万円札発行カウントダウンプロジェクト 推進協議会について

- 1 目的
- 2 シンボルロゴ
- 3 組織図
- 4 協議会メンバー
- 5 協議会開催実績

Ⅱ-Ⅰ.目的

令和5(2023)年9月20日(水)、北区は第1回目の新一万円札発行カウントダウンプロジェクト推進協議会を開催し、「新一万円札発行カウントダウンプロジェクト」を始動した。

これは、公民連携により渋谷翁の精神及び区の魅力を全国に発信するとともに、新一万円札発行の機運醸成を図ることを目的としたものである。

この日、渋谷栄一プロジェクトの広報キャラクターである「しぶさわくん」が、新一万円札発行カウントダウンプロジェクトのPR大使に任命され、推進協議会の会長である東京商工会議所北支部の越野会長、やまだ加奈子北区長とともに、区全体を盛り上げる決意を表明した。



Ⅱ-2.シンボルロゴ・しぶさわくんカウントダウンプロジェクト ver.

カウントダウン事業の周知等に共通ロゴを使用して、一体感を創出するとともに、様々な場面で使用することで、区民の目に触れる機会を増やし、機運醸成を図った。



発行まであと13日! **社会の安定を支える偽造防止技術**
「渋沢×北区」知って得する新しいお札の豆知識

問しごと連携担当課 ☎ (3908) 1226

10000 新一万円札発行 カウントダウン プロジェクト

現金取扱機器の多い日本では、その流通環境への適性も考慮してお札は設計されており、また他にもカラーコピー機による偽造を防ぐなど、多くの偽造防止技術が盛り込まれています。

新しいお札の新たな偽造防止技術について紹介します。

まず、現行のすき入れに加えて、新たに高精細なすき入れ模様を採用しました。肖像の周囲に緻密な画線で構成した連続模様が施されています。

そして、3Dホログラムです。左右に傾けると肖像が三次元に見えて回転します。この技術をお札に採用するのは世界初です。また、肖像以外の図柄も見る角度によって変化します。

国立印刷局は、世界に誇るお札の偽造防止技術の向上に向け、努力を重ねています。

出典：国立印刷局ホームページ

※使用事例

渋沢×北区
新一万円札発行100日前
フェスティバル in 赤羽

祝賀一が肖像となる新一万円札
 発行まで、まもなく100日戦を控え、
 日本経済を発展させ、産業も近代化に導いた
 渋沢幸一の功績や情熱を
 受け継ぐ機運を醸成します!

渋沢マインド 赤羽に集う

「開港、発展、富めた」
 渋沢幸一が
 ゆかりのある地が
 集まる大イベント!

物産展

「産業を興守る」
 渋沢幸一が
 発展の源動力が
 大活躍します!!

講演・パネル展示

日本の未来の
 発展に貢献した
 渋沢幸一の功績を
 たのしみながら

音楽&ダンス

3.16(土) 3.17(日) 3.18(月)

能登半島 地蔵堂 協力

10000 新一万円札発行 カウントダウン プロジェクト

庁内連携
 提案事業マッチング
 関連事業情報共有
 予算管理 ほか

集約

連携

II-4.協議会メンバー(敬称略、順不同)

協議会会長



東京商工会議所北支部
会長
越野 充博



公益財団法人渋谷栄一記念財団
渋谷史料館 顧問
井上 潤



一般社団法人東京北区観光協会
事務局長
杉山 徳卓



タウン紙 きたシティ
編集長
桐生 靖子



国立印刷局管理部管理課
お札と切手の博物館 館長
森谷 淳二



国立印刷局総務部総務課広報官室
広報官
東 徹二 (R5年度)
梅原 伸也 (R6年度)



北区文化振興財団
事務局長
石山 泰史 (R5年度)
遠藤 ひでみ (R6年度)



北区長
やまだ 加奈子



北区副区長
(しごと連携担当室長事務取扱)
中嶋 稔



北区シティプロモーション推進担当課長
窪田 みなみ (R5年度)
北区シティブランディング戦略課長
吉田 直人 (R6年度)



北区しごと連携担当課長
入江 久夫 (R5年度)
新庄 孝雄 (R6年度)

Ⅱ-5.協議会開催実績

	年月	開催場所	テーマ
①	令和5(2023)年9月20日(水)	北とぴあ8階803会議室	(1)委員紹介 (2)協議会運営方針 (3)新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの概要
②	令和5年10月30日(月)	北とぴあ7階701会議室	(1)カウントダウンプロジェクト主要ポイント等について (2)実施予定事業(案)について (3)検討事項について
③	令和5年11月27日(月)	北とぴあ8階802会議室	(1)カウントダウンプロジェクトの推進について
④	令和5年12月25日(月)	北とぴあ8階802会議室	(1)カウントダウンプロジェクトの推進について
⑤	令和6(2024)年1月29日(月)	北とぴあ9階902会議室	(1)カウントダウンプロジェクトの推進について
⑥	令和6年3月1日(金)	北とぴあ14階カナリアホール	(1)区民企画アイデア募集(事業提案コース)の プレゼンテーション審査について
⑦	令和6年4月4日(木)	赤羽会館4階第三集会室	(1)カウントダウンプロジェクトの推進について
⑧	令和6年5月7日(火)	北とぴあ7階701会議室	(1)カウントダウンプロジェクトの推進について
⑨	令和6年6月3日(月)	北とぴあ7階701会議室	(1)カウントダウンプロジェクトの推進について
⑩	令和6年7月31日(水)	北とぴあ7階701会議室	(1)前回協議会以降の実施状況の概要と 新一万円札発行後の取り組みについて

Ⅲ.本プロジェクトの取組み

- 1 新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの歩み
- 2 主な取組み
- 3 公民連携(イベント・展示・講演会)
- 4 協力企業
- 5 職員提案
- 6 情報発信



Ⅲ-1.新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの歩み

令和5(2023)年

- 9.20 新一万円札発行カウントダウンプロジェクト推進協議会発足 しぶさわくんをPR大使に委嘱(Ⅱ-1)
- 9.24 第10回記念 北区花火会(Ⅲ-3-①)
- 10.7 ～ 渋谷栄一 肖像展Ⅰ【渋谷史料館】(Ⅲ-3-⑦)
- 10.11～ 秋の特集展「すかしの技と美」【お札と切手の博物館】(Ⅲ-3-⑭)
- 10.24 新一万円札発行カウントダウンプロジェクト特設HP 開設(Ⅲ-6)
- 10.27～ 区民・団体等からのアイデア募集(Ⅲ-3-②)
- 10.31～ 常設展示の一部展示替え【お札と切手の博物館】Ⅲ-3-⑭)
- 11.3 無心庵再興プロジェクト2023秋 飛鳥山大茶会(Ⅲ-3-④)
- 我が街の偉人渋谷栄一クイズラリー(Ⅲ-3-⑥)
- 11.8 ～ 出張授業【国立印刷局】(Ⅲ-3-⑨)
- 11.10～ 北区中を藍く染めよう大作戦(Ⅱ-2-①)
- 起業家育成プロジェクト(Ⅲ-3-⑱)
- 11.11 渋谷翁命日イベント(Ⅲ-3-⑤)
- 11.12 グランド・オールド・マン・フェスタ(Ⅲ-3-⑥)
- 12.1 ～ 渋谷栄一街中史料館(Ⅲ-3-⑯)
- 12.7 ～ 青淵義塾上級編 ～北区渋谷栄一ガイドマップを作ろう～ (Ⅲ-5-⑧)
- 12.28～ 直営清掃車両をラッピング(Ⅲ-5-③)
- カウントダウンタイマー設置・SNSによる発信 (Ⅲ-6)
- (随時実施) 学習用端末(きたコン)の壁紙にしぶさわくんを活用(Ⅲ-5-⑧)
- プログラミング教材(きたらっち)でゲーム作成(Ⅲ-5-⑧)
- 北区ニュース、のぼり、懸垂幕による情報発信(Ⅲ-6)

Ⅲ-1. 新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの歩み

令和6(2024)年

- 1.4 東京証券取引所大発会でしぶさわくんが登場(Ⅲ-3-⑦)
- 1.27 ReHacQ公開収録(Ⅲ-2-②)
- 2.1 ~ 渋沢翁の好んだ食べ物や料理を区立小・中・義務教育学校の学校給食で提供(Ⅲ-5-⑧)
- 2.3 しぶさわくんのぬり絵作成(Ⅲ-5-⑤)
- 2.23 芥川龍之介旧居跡地に刻まれた記憶～出土品から辿る渋沢栄一との繋がり～【田端文士村記念館】(Ⅲ-3-⑬)
- 3.16～ 新一万円札発行100日前フェスティバル in 赤羽(Ⅲ-2-③)
- 3.5 ~ JRコラボスタンプラリー(Ⅲ-3-⑧)
- 4月頃～ 株式会社旺栄 “おさつのお札パン”などの開発・販売(Ⅲ-4-①)
狭あい道路整備済みプレートにしぶさわくんを活用(Ⅲ-5-⑥)
- 5月頃～ 区民税税額通知書封筒にカウントダウンプロジェクトのロゴを活用(Ⅲ-5-②)
- 5.12 しぶさわくん一日民生児童委員に就任～コラボグッズでPR～(Ⅲ-5-④)
- 5.15 城北信用金庫 しぶさわくん支店がオープン(Ⅲ-4-②)
- 5.24～ ドナルド・キーンと渋沢栄一『続百代の過客』で読む「航西日記」パネル展【中央図書館】(Ⅲ-5-⑧)

Ⅲ-1. 新一万円札発行カウントダウンプロジェクトの歩み

令和6(2024)年

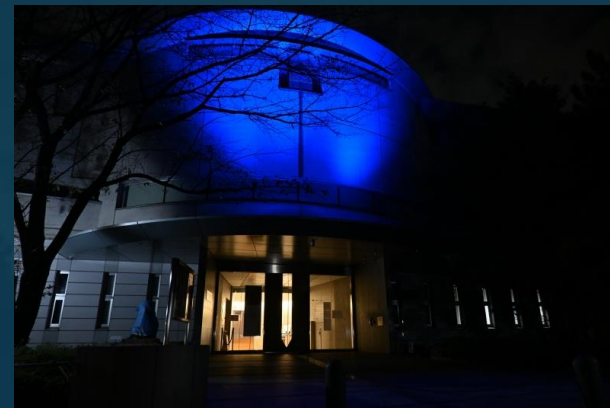
- 6月頃～ 区民事務所の窓口封筒にしぶさわくんイラストを活用(Ⅲ-5-②)
- 6.1 ～ 渋沢栄一翁ゆかりの地を回遊しよう #AR渋沢栄一と一緒に(Ⅲ-5-⑦)
- 一般向け展示「お札とお札になった人々」【中央図書館】(Ⅲ-5-⑧)
- 児童向け展示「日本経済界の父・飛鳥山と縁が深い渋沢栄一がお札になった！」【中央図書館】(Ⅲ-5-⑧)
- 6.3 ～ クラウドファンディング～旧渋沢庭園改修プロジェクト～(Ⅲ-2-④)
- 6.19～ 渋沢栄一の郷 深谷博覧会 紙幣の顔になる偉人たち(Ⅲ-3-⑩)
- 6.16 「田端ひととき散歩」渋沢栄一と芥川龍之介の知られざる縁(Ⅲ-3-⑬)
- 6.22 0歳からのクラシック「音浴じかん」しぶさわくんと行く世界旅行(Ⅲ-3-⑨)
- 6.22～ プロジェクションマッピング「渋沢翁の晩餐会」(Ⅲ-2-⑤)
- 7.1 ～ 渋沢栄一ゆかりの地 スタンプラリー(Ⅲ-3-⑪)
- 7.3 祝 新紙幣発行記念セレモニー(Ⅲ-2-⑥)
- 7.3 ～ 特別展示「お札の誕生祭 新しいお札がやって来た！」Ⅰ期【お札と切手の博物館】(Ⅲ-3-⑭)
- 7.6 渋沢関連講演会「渋沢栄一と子どもたち」【中央図書館】(Ⅲ-5-⑧)
- 7.18 祝！新一万円札発行記念 渋沢栄一特別講演会(Ⅲ-2-⑦)
- 7.20 Shibusawa Festa(Ⅲ-3-⑫)
- 8.9 大日本印刷株式会社 本づくりのワークショップ(Ⅲ-4-③)
- 8.22 株式会社読売プリントメディア エ場見学会(Ⅲ-4-④)
- 8.21～ 見晴らす丘の紳士 再演(Ⅲ-3-⑨)
- 9.3 ～ 特別展示「お札の誕生祭 新しいお札がやって来た！」Ⅱ期【お札と切手の博物館】(Ⅲ-3-⑭)
- 9.5 アジア諸国統計研修生に「渋沢ツアー」【地域振興部】(Ⅲ-5-①)
- 11.11 JR王子駅中央口から旧古河庭園までの道路に愛称を設定(Ⅲ-2-⑧)

Ⅲ-2-①北区中を藍く染めよう大作戦

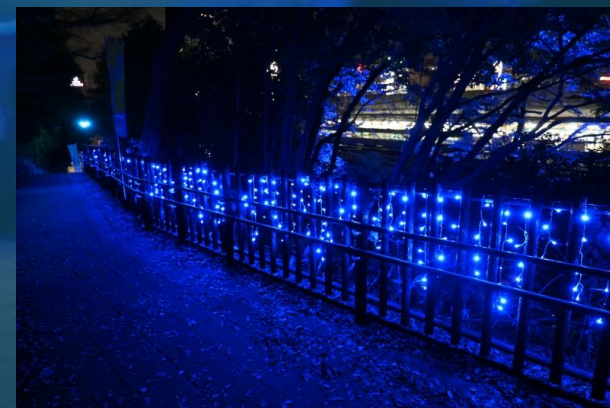
東京商工会議所本部渋沢記念事業推進プロジェクトチームが、 渋沢翁の命日である11月11日(青淵忌)に東京タワーをライトアップした。あわせて北区も、旧渋沢庭園や渋沢史料館、shibusawa hat れすとらん館、飛鳥山公園(王子駅側面)を青くライトアップした。

【実施期間】 令和5(2023)年11月10日(金)～19日(日)

Instagramで「#渋沢ブルー」をつけて写真投稿を募集。投稿内容は、ライトアップに限らず、普段青くないものが青くなっていれば可とした。11月10日～19日を投稿の期間とし、25件もの投稿があった。



渋沢史料館



飛鳥山公園(王子駅側面)

Ⅲ-2-②ReHacQ公開収録

新一万円札の肖像が北区ゆかりの偉人、渋沢栄一翁と
なることが決定し、さらに新紙幣は北区の国立印刷局東京
工場で印刷され、日本全国へと羽ばたいていく。これを
を記念して、北区と超人気YouTubeチャンネル
「ReHacQ—リハッカー」コラボによる公開収録を行っ
た。

【実施日】令和6(2024)年1月27日(土)

【実施場所】北とぴあ さくらホール

【来場者数】923名

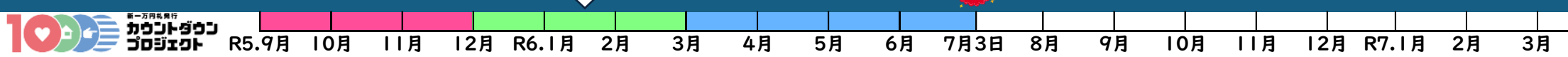
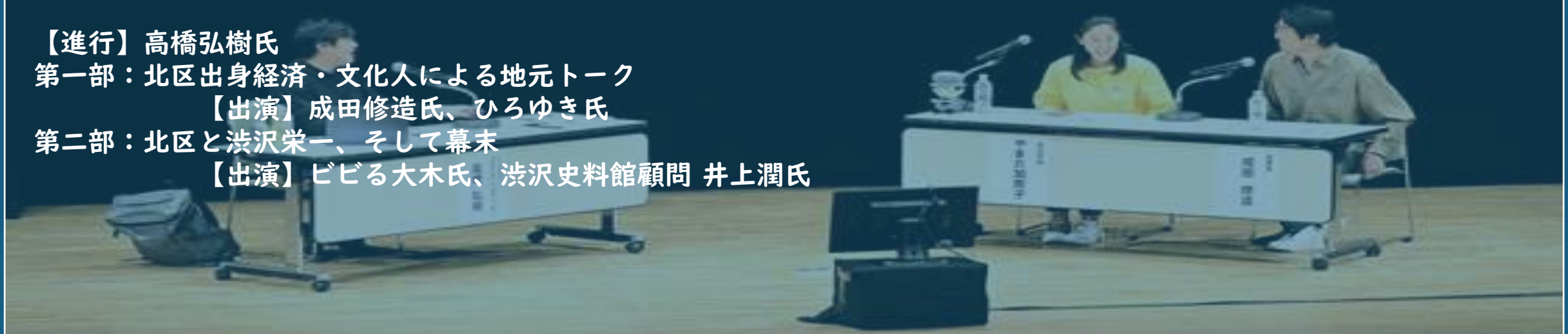
【進行】高橋弘樹氏

第一部：北区出身経済・文化人による地元トーク

【出演】成田修造氏、ひろゆき氏

第二部：北区と渋沢栄一、そして幕末

【出演】ビビる大木氏、渋沢史料館顧問 井上潤氏



Ⅲ-2-③新一万円札発行100日前フェスティバルin赤羽

新一万円札発行まで「いよいよあと100日！」の高揚感を区民の皆さまと共有するために実施。今回のプロジェクトを機に、“北区全体”で「渋沢＝北区」を盛り上げるため、イトーヨーカドー赤羽店、ショッピングセンタービビオ等を舞台に赤羽で開催。16日には、赤羽西口七福神広場にて区民アイデア募集企画の授賞式を行い、赤羽文化センターにて渋沢栄一翁に関する講演会を行った。

【実施期間】令和5(2023)年3月16日(木)～18日(土)



イトーヨーカドー赤羽店での物産展



区民アイデア募集企画の受賞式後の様子



講演会の様子



Ⅲ-2-③新一万円札発行100日前フェスティバルin赤羽

【参加自治体】

埼玉県深谷市、東京都板橋区、北海道清水町、和歌山県和歌山市、福井県

【協力団体】

国立印刷局、観光協会、渋沢史料館、北区文化振興財団、きたシティ、紙の博物館、興亜紙業株式会社、王子ファイバー株式会社、国際紙パルプ商事株式会社、北区サッカー協会、東京ヴェルディベレーザ、城北信用金庫、北区社会福祉協議会、北区観光ボランティアガイド、北区もりあげ隊、株式会社ハギヤ、畔デザイン、株式会社ぷらっとマルシェ、D-fine、北区版アーティストバンク、イトーヨーカドー赤羽店、ショッピングセンタービビオ、赤羽アピレ、西赤羽商店街連合会、赤羽商店街連合会、合同会社Hand-Mock、イオンスタイル赤羽



担当の声

当日、イトーヨーカドー赤羽店1階催事場で開催されたイベントは大変にぎわっており、渋沢栄一ゆかりの食品や歴史について多くのお客様に知っていただくことができました。今後も地域と連携したイベントなどを実施し、地域に根差したお店を目指して取り組んでまいります。

(イトーヨーカ堂 サステナビリティ推進部担当者様)



担当の声

初の赤羽地区開催ということで、多くのご来場者様がみえ、北区全体への発信に貢献出来たと実感しております。

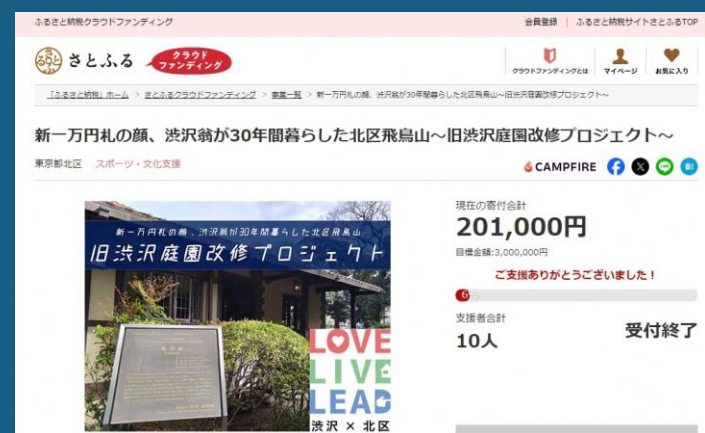
(ショッピングセンタービビオ赤羽 事務局)



Ⅲ-2-④クラウドファンディング～旧渋沢庭園改修プロジェクト～

渋沢栄一翁の魅力、現代社会を支え続ける影響力について知ってもらうとともに、「お札が生まれるまち・北区」や「渋沢×北区」のイメージを強く発信することを目的として、クラウドファンディングを実施した。寄せられた寄附金で旧渋沢庭園入口案内板、青淵文庫及び晩香廬案内板の更新、銘板の設置を行い、旧渋沢庭園来園者が渋沢翁の意志を感じることが出来る空間づくりに活用した。

- 【募集期間】 令和6(2024)年6月3日(月)～7月31日(水)
- 【返礼品】 (10万円以上寄附者)
- ①旧渋沢庭園特別見学ツアー(昼食、お土産付き)
 - ②国立印刷局特別見学ツアー(昼食、お土産付き)
- 【結果】 寄附金額 452,000円(寄附件数 18件)



さとふるHP(<https://www.satofull.jp/projects/top.php>) 募集チラシ





担当の声

更新した案内板をご覧ください、渋沢翁の精神について身近に感じていただきたいと思います！(しごと連携担当課)

Ⅲ-2-⑤プロジェクトマッピング「渋沢翁の晩餐会」

区内の若手映像クリエイターを起用してプロジェクトマッピングを行い、「渋沢×北区」を区内外へ発信した。また、当日の日中には、青淵義塾渋沢探検隊！クイズラリー、渋沢庭園と古河庭園魅力発見、夜間には飛鳥の小径のあじさいライトアップ、ミニビアガーデンを合わせて実施し、相乗効果によるにぎわい創出を図った。なお、当日の様子は見逃し配信として北区公式YouTubeで動画配信を行っている。



見逃し配信はこちら

【開催日時】 令和6(2024)年6月22日(土)
・6月23日(日)
各日19:15～(1回目)
19:45～(2回目)
20:15～(3回目)
※各回15分程度

【開催場所】 旧渋沢庭園 青淵文庫前

【入場者数】 約1,300人



担当の声

皆様のご尽力で、青淵文庫を再光できました。感謝申し上げます。
(HIROLINK 内田様)



青淵義塾渋沢探検隊！
クイズラリー



渋沢庭園と古河庭園の
魅力発見！



ビアガーデン

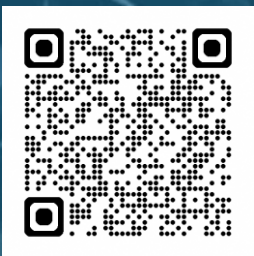


飛鳥の小径ライトアップ



Ⅲ-2-⑥新紙幣発行記念セレモニー

令和6(2024)年7月3日(水)、渋沢翁を肖像とする新一万円札が発行されることに伴い、旧渋沢庭園内にある青淵文庫前で、くす玉を使ったセレモニーを実施した。当日は、カウントダウンプロジェクト協議会のメンバーを始め、大勢の地域住民や子どもたちのほか、しぶさわくんも参加し、およそ200名程度の人々が集まり、盛大に渋沢翁の新一万円札発行を祝福した。なお、当日の様子は北区公式YouTubeで動画配信を行っている。



当日の様子はこちら

当日は、他にも区内小中学校で渋沢翁にちなんだ給食メニューが提供されたほか、城北信用金庫しぶさわくん支店(王子銀座出張所)及び同支店隣の王子一丁目遊び場でもイベントが実施され、「おさつのお札パン(株式会社旺栄)」などが販売されるなど、区全体で渋沢翁の新紙幣発行を祝福した。



王子一丁目遊び場でのイベントの様子



Ⅲ-2-⑦祝！新一万円札発行記念 渋沢栄一特別講演会

7月3日(水)に渋沢栄一翁が肖像の新一万円札が発行され、発行後の盛り上がりをもままに、7月26日(金)から開幕するパリ2024オリンピックに関連して渋沢翁とフランスをテーマに開催された。

フランス文学者・鹿島茂氏による基調講演と講師・神田京子氏による講談の2部制で開催された講演会。

- 【実施日】 令和6(2024)年7月18日(木)
- 【主催】 東京都北区
- 【共催】 東京商工会議所北支部
- 【参加者数】 約360名



担当の声

舞台袖から講談を拝見しましたが、とても迫力があり、衝撃的でした。とてもわかりやすく渋沢翁の話がまとめられていて、面白くもあり勉強になりました。

(シティブランディング戦略課)

100th Anniversary
カウントダウン
プロジェクト

50th Anniversary
東京商工会議所
北支部

祝！新一万円札発行記念

渋沢栄一特別講演会

主催：東京都北区 共催：東京商工会議所北支部
(東京北支部設立50周年記念事業)

7.18 木

14:00~16:30 (13:30開場)

会場：北とぴあつじホール

入場無料
定員280名
(抽選)

古今の人々を魅了し、渋沢栄一をも感化させたフランス・パリ。
鹿島茂氏の基調講演と神田京子氏の講談による渋沢栄一を中心とした企画です。

1部

基調講演

フランス パリ

「渋沢栄一が見た仏蘭西・巴里」

フランス文学者 鹿島 茂 氏

2部

講談

渋沢栄一伝 ～パリ編～

旅で見たもの聞いたもの！止まらない好奇心と行動力が聞く道。

講師 神田 京子 氏

申込方法

LoGoフォームまたは通常はがきで、6月19日(水) (必着) までにお申し込みください。
当選した申込代表者には、7月上旬頃に観覧チケットを郵送いたします。

LoGoフォームによる申込

通常はがきによる申込
〒114-8508 (住所不要)
シティブランディング戦略課
渋沢栄一特別講演会担当

【うらな】の申込代表者氏名
①郵便番号・住所
②電話番号
③来場人数 (申込2名まで)
④来場者氏名 (代表者含む)
※車イス席に希望の方はその旨記入

注意

・複数の応募が認められる場合、ご応募は全て無効となります。
・落選された方への個別の連絡はございません。

問い合わせ先

北区政策経営部シティブランディング戦略課
電話 03-3908-1364

祝



Ⅲ-2-⑧ JR王子駅中央口から旧古河庭園までの道路に愛称を設定

JR王子駅中央口から旧古河庭園までの道路に愛称をつけるアンケートを実施した結果、「渋沢通り」に決定した。愛称の決定を記念し、JR王子駅中央口と国立印刷局の敷地の一部に案内看板を設置。看板デザインは国立印刷局のお札のデザインをしている工芸官が手掛けており、複雑な幾何学模様(彩紋)をあしらうなど、北区ならではのデザインとなっている。

渋沢翁の命日である11月11日(青淵忌)に、JR王子駅中央口前で愛称発表セレモニーを開催した。「渋沢」の名を冠した道路の愛称は全国で初となる。

【アンケート実施期間】令和6(2024)年7月1日～8月31日

【アンケート回答数】2,652件



Ⅲ-3-①第10回記念 北区花火会

記念すべき第10回を迎えた北区花火会が荒川河川敷・岩淵水門周辺で開催された。コロナ禍を越え、多くの飲食ブースが出店し、区内外から多くの人を訪れた。第2幕では渋沢翁の社会貢献活動にスポットを当てたストーリー花火を実施。渋沢翁と北区のつながりを区内外へ発信した。

また、アフターステージではしぶさわくんが出演し、地元のキッズダンサーと共にしぶさわくんの唄に併せてダンスを披露した。

【実施日】 令和5(2023)年9月24日(日)

【主催】 北区花火会実行委員会

【概要】 テーマ：「新時代」

第1幕：10th Anniversary 北区・新時代

第2幕：渋沢栄一と社会貢献

第3幕：第6回 北区芸術花火博覧会

第4幕：グランドフィナーレ ～ひまわりの約束～



担当の声

満月の夜空に花火を見上げる皆様の歓声と笑顔に感動しました。

(北区観光協会)



Ⅲ-3-②区民・団体等からのアイデア募集

区民一人一人が主体的にプロジェクトに参加し、新一万円札発行に向け、シビックプライドの醸成を図るため実施。同時に、今後の参加型事業実施に向けた社会実験として課題を洗い出すことを目的とした。

【実施期間】 令和5(2023)年10月27日(金)
～12月8日(金)

【応募対象者】 区民、区内在勤・在学の方

【応募数】 ひらめきコース…98件
事業提案コース…11件

【審査方法】 ひらめきコース

第一次審査：区民投票
獲得票数順に受賞提案決定

事業提案コース

第一次審査：区民投票(獲得票数順に第二次審査へ進出)
第二次審査：プレゼンテーション

賞	ひらめきコース
ベスト アイデア賞	「渋沢栄一」ポケモン ～激レアポケモンを北区でゲット～
	北とぴあにプロジェクションマッピング
グッド アイデア賞	渋沢狐を探せ!
	プラタモリで飛鳥山特集
	渋沢栄一とショートsong&dance♪ ～ショート動画で世界の若者に届ける～
	「渋沢栄一新札記念!けん玉選手権開催」 ～昔あそびと渋沢栄一を楽しむ～
	渋沢栄一版・人生ゲーム(ボードゲーム)

賞	事業提案コース
最優秀賞	渋沢栄一翁の”紙”から作った「サッカーゴールネット」の未来を考える
優秀賞	謎解き de 新一万円札
優秀賞	渋沢栄一の思いをつなぐ 北区王子の産業遺産から読み解く近代日本経済の父:渋沢栄一



Ⅲ-3-③区民・団体等からのアイデア募集(実施事業)

事業提案コースについて、前ページの審査を経て決定した最優秀賞(1案)、優秀賞(2案)をそれぞれ実施した。

【最優秀賞】

渋沢栄一翁の“紙”から作った「サッカーゴールネット」の未来を考える

【実施日】令和6(2024)年11月16日(土)

【参加者数】61名(小学生、保護者、シニア委員会)



受賞者の声

渋沢栄一翁の抄紙会社の流れをくむ王子ファイバー(株)よりご提供頂いた「紙の糸から作ったサッカーゴールネット」を現在浮間子どもスポーツ広場で使用しています。また渋沢史料館 桑原功一館長を講師にお迎えし、「渋沢栄一翁と北区のつながり」をわかりやすく楽しくサッカー少年少女に講演して頂きました。北区の子ども達に身近なサッカー用品を通して渋沢栄一翁のことを興味を持ってもっと知って頂きたいと思います。

(北区サッカー協会 会長 山田様)



Ⅲ-3-③区民・団体等からのアイデア募集(実施事業)

【優秀賞】

北区近代化産業遺産×謎とき

【実施日】令和7(2025)年3月下旬～5月上旬予定



受賞者の声

本賞を通じて微力ながらも地元北区を応援できたことを嬉しく思います。
(矢野様)

【優秀賞】

渋沢栄一の思いをつなぐ北区王子の産業遺産から読み解く

近代日本経済の父：渋沢栄一

【実施日】令和6(2024)年12月1日(日)

【参加者数】25名



受賞者の声

北区王子の産業遺産地図を片手に現地を巡り、有識者のお話を伺って意見交換。さらに理解を深めて発表し合うという企画です。当日は、北区渋沢栄一プロジェクト青淵義塾区民企画講座「もっと！渋沢栄一」(北区教育委員会：全5回)の最終回。フィールドワークとワークショップを重ねたそれまでの4回を集約するように「これからの日本と渋沢栄一」を参加者一同で話し合い、活発な発言もいただき、とても有意義な回となりました。渋沢史料館方々を始め、青淵義塾メンバー、北区観光ボランティアガイドの皆さま、そして訪れた先々でご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(ぷらっとマルシェ 椿様)



Ⅲ-3-⑤ 渋沢翁命日イベント

11月11日(土)の渋沢翁の命日に、区内各所でイベントが開催された。

- ラ・フォル・ジュルネ KITAKU シブサワ 旧渋沢庭園～秋の音楽会～
- 渋沢史料館 企画展
- 渋沢栄一ご当地！朗読ワークショップーその偉業を声にする命日ー
- 北とぴあ国際音楽祭
- 音無かわどこ舞台
- 渋沢栄一かるたクイズラリー
- 秋のにぎわいプロジェクト



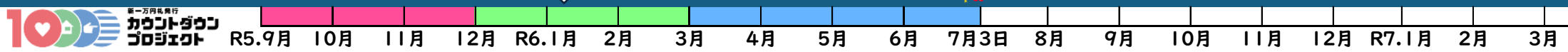
Ⅲ-3-⑦東京証券取引所大発会でしぶさわくんが登場

新年令和6(2024)年1月4日(木)に東京証券取引所で行われる日本取引所グループ恒例の大発会にしぶさわくんが登場し、市場の発展を願い、令和6(2024)年の取引開始を告げる鐘を叩くことになっていた。しかし、1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方への追悼のため、打鐘を取りやめ、黙とうを捧げるなどプログラムが大きく変更となった。

しぶさわくんも会場にて、黙とうを捧げるなど、令和6(2024)年の取引開始を見守った。



大発会終了後の1年間、東京証券取引所見学コースのショーケースにしぶさわくんのぬいぐるみなどが展示され、継続的な全国へのPRになった。



 第一万回開催
カウントダウンプロジェクト
 R5.9月 10月 11月 12月 R6.1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月3日 8月 9月 10月 11月 12月 R7.1月 2月 3月

Ⅲ-3-⑨ 舞台

■0歳からのクラシック「音浴じかん」 しぶさわくんと行く世界旅行

参加型・体験型のクラシック音楽のアミューズメントパーク「音浴じかん®」にしぶさわくくんがゲストとして登場する、新一万円札発行記念コンサートとして実施された。しぶさわくくんが世界旅行をしながら、それぞれの国の紙幣と音楽を楽しみながら知るプログラムで実施された。

【実施日】 令和6(2024)年6月22日(土)

【主催】 有限会社エルーデ

【後援】 一般社団法人東京北区観光協会、東京都北区



■見晴らす丘の紳士 再演

平成30(2018)年に上演された「見晴らす丘の紳士」を、新一万円札が発行される令和6(2024)年に再演を行うことで、新紙幣発行後も渋沢翁の功績と魅力を伝えていく。

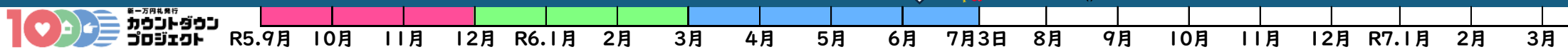
【実施日】 令和6(2024)年8月21日(水)～25日(日)

【主催】 LiveUpCapsules

【共催】 北区文化振興財団

【会場】 北とぴあペガサスホール

【入場者数】 623名(有料席、招待席含む)



Ⅲ-3-⑩ 渋沢栄一の郷 深谷博覧会 紙幣の顔になる偉人たち

新紙幣発行まで2週間をきったタイミングで「渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎」をテーマにゆかりの団体が一堂に会し、新紙幣や新紙幣ゆかりの地をPRし、当日に向けてより一層機運の醸成を図る。参加団体と各人物とのつながりに着目したパネル展示のほか、お土産品や関連商品の販売を行った。さらに、独立行政法人国立印刷局では、デザイン・偽造防止技術等の紹介のほか、新日本銀行券のコンテ画や原図作成に使用する道具の展示等も行い、また、今回の催しには旧1万円札の肖像である福澤諭吉の故郷である大分県中津市も出展を行った。

【実施日】 令和6(2024)年6月19日(水)・20日(木)

両日ともに11時～18時

【会場】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号KITTE

地下1階 東京シティアイ パフォーマンスゾーン

【主催者】 埼玉県深谷市

【出展者】 埼玉県深谷市、東京北区観光協会、大分県中津市、熊本県小国町、津田塾大学、学校法人北里研究所、独立行政法人 国立印刷局、深谷市内郵便局



Ⅲ-3-⑪ 渋沢栄一ゆかりの地 スタンプラリー

渋沢栄一が新一万円札の肖像として選ばれ、令和6(2024)年7月3日に発行されることを記念した、渋沢栄一ゆかりの地を巡るスタンプラリーが実施され、北区もゆかりの地として参加した。

スマートフォンなどのモバイル端末に専用アプリをダウンロードし、GPSで位置情報を読み込んで(一部の場所は二次元コードを読み取り)、各エリアのデジタルスタンプ全てを集める等、獲得条件を満たした場合には達成賞や完全制覇賞としてプレゼントが用意された。北区では(株)旺栄、(一社)東京北区観光協会から景品の協賛をいただいた。

【実施期間】 令和6(2024)年7月1日(月)～9月1日(日)

【主催者】 一般社団法人日本橋兜らいぶ推進協議会

【共催】 埼玉県深谷市、長野県佐久市、東京都北区



担当の声

初日開店前から待っているお客様もおり関心の高さがうかがえました。

(渋沢逸品館 TSUNAGU marché スタッフ様)



Ⅲ-3-⑫Shibusawa Festa

東商北支部設立50周年記念事業ならびに北区「新1万円札発行カウントダウンプロジェクト」の一環として、渋谷栄一に関する様々な催し物が実施された。

会場地下1階の展示ホールでは、オリジナル手ぬぐいの作成や風鈴の絵付けなど10種類以上の子ども向けワークショップをはじめ、渋谷ゆかりの商品や北区の食品などの物産展、支部青年部によるボッチャ・北区伝統工芸品の体験、さらに北区を拠点とする地域密着のインターネットラジオ局「しぶさわくん FM」の公開収録などが実施された。

また、会場16階では、令和6(2024)年12月に初めて学生を対象に開催する「北区ビジネスプランコンテスト学生版」のスタートアップイベントとして、新進気鋭の区内起業家を呼んだ講演会と東京証券取引所による説明会が開催された。

- 【実施日】 令和6(2024)年7月20日(土)10時30分～17時
- 【会場】 北とぴあ
- 【主催】 東京商工会議所北支部
- 【共催】 東京都北区
- 【後援】 東京都北区観光協会
- 【協力】 東京証券取引所、城北信用金庫、JimoKids



担当の声

関係各所の多大なるご協力のおかげさまで、約800名の来場者を迎えることができました。

(東京商工会議所北支部)



Ⅲ-3-⑬ 渋沢栄一と芥川龍之介【田端文士村記念館】

「田端ひととき散歩」 渋沢栄一と芥川龍之介の知られざる縁

新一万円札の肖像が渋沢栄一になることを記念して、同じ滝野川町に暮した芥川龍之介との関係性を紐解くことをテーマに実施された。田端文士村記念館研究員が館内で1時間程度話をした後、田端のまちを1時間ほど歩き、北区に暮らした二人の偉人について新紙幣発行を契機に知識を深める契機となった。

- 【実施日】 令和6(2024)年6月16日(日)13時開演
- 【入場者】 71名（応募239名）
- 【会場】 田端文士村記念館ホール
- 【主催】 北区文化振興財団
- 【共催】 東京都北区

令和6年度 第3回 田端ひととき散歩

新紙幣発行まであと10日!

参加費 無料

渋沢栄一と芥川龍之介の縁

知られざる縁




本年7月3日、新一万円札の顔が渋沢栄一に！これを記念して同じ滝野川町に暮らした芥川龍之介との関係性を紐解きます。北区の二人の偉人について、紙幣発行を契機に知識を深めてみませんか。当館研究員による約1時間の講義の後、田端内のゆかりの地を巡ります。

※天候により館内の解説のみになることがあります

令和6年
6/16日 13:00 開演
(12:30 開場)

田端文士村記念館ホール
(JR 山手線・京浜東北線「田端駅」北口徒歩2分)

※駐車・駐輪は隣接の有料施設をご利用下さい。

【ご案内】当館研究員
【定員】80名 (抽選・全席自由)

【お申込】往復はがき、または専用フォームで**5/27(月) 必着**

※応募は1件につき2名まで可。(全員分の氏名を申込時に記入)
※往復はがきの場合は開催日を必ず明記



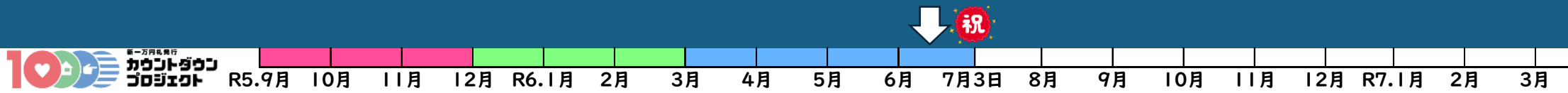
専用フォーム



新一万円札発行
カウント
ダウン
プロジェクト

主催・宛先
問合せ

〒114-8523 東京都北区田端 6-1-2
(公財) 北区文化振興財団 田端文士村記念館
<https://kitabunka.or.jp/tabata/> ☎ 03-5685-5171
✉ @bunshimura



Ⅲ-3-⑬ 渋沢栄一と芥川龍之介【田端文士村記念館】

【特別展】 芥川龍之介旧居跡地に刻まれた記憶 ～出土品から辿る渋沢栄一との繋がり～

(仮称)芥川龍之介記念館開設準備に伴う埋蔵文化財発掘調査の中で、旧居跡地から近現代の遺物が出土した。渋沢栄一らが設立した「耕牧舎」の牛乳瓶や芥川の主治医・下島勲が開業した「樂天堂醫院」の薬瓶ほか、「丸善」のインキ瓶など、出土品とその背景にある当時の人々の生活について紹介された。

【期 間】 令和6(2024)年2月23日(金)～9月21日(土)

【会 場】 田端文士村記念館 常設展示スペース

【入場者数】 11,157名

【主 催】 北区文化振興財団

【共 催】 東京都北区



Ⅲ-3-⑭国立印刷局お札と切手の博物館

■秋の特集展「すかしの技と美 工芸官作品展」

お札のすかしにまつわる展示紹介を通じて、お札の紙の製造が北区に由来することを知ってもらうことでお札とのつながりを改めて実感してもらうこと等を目的として開催された。

【実施期間】 令和5(2023)年10月11日(水)～令和5(2023)年11月26日(日)

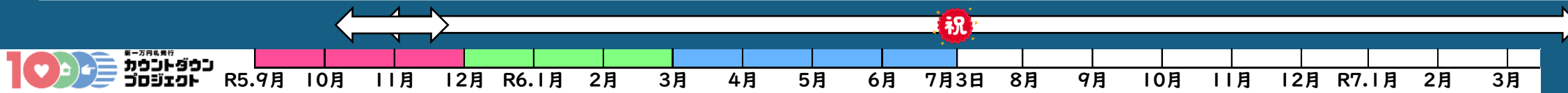
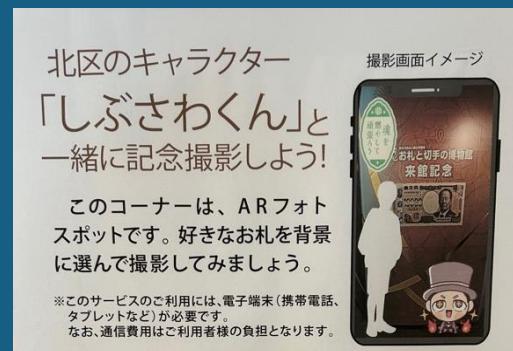
【実績】 入館者数：2,746名



■常設展示の一部展示替え

新日本銀行券の紹介コーナー及び「しぶさわくん」キャラクターのARフォトスポットを新設され、お札と北区のつながりを改めて感じてもらった。

【実施期間】 令和5(2023)年10月31日(火)～
※フォトスポットは現在も継続実施中



Ⅲ-3-⑭国立印刷局お札と切手の博物館

■特別展示「お札の誕生祭 新しいお札がやってきた！」

7月3日に20年振りの新しいお札が発行されたことから、これから毎日使うお札についてより理解を深めるため、新しいお札の肖像や技術などを紹介するとともに、お札の歴史を振り返りながら、高額券の出現と経済の関係性についても紹介された。

また、日本銀行から贈呈されました若い記番号「AA000004AA」の各券種を展示。
（現在も展示中）

【実施期間】	I 期	令和6(2024)年7月3日(水)～令和6(2024)年 9月 1日(日)
	II 期	令和6(2024)年9月3日(火)～令和6(2024)年12月22日(日)
【実績】	I 期	入館者数：11,126名
	II 期	入館者数：22,392名



担当の声

多くの方にご来館いただき、新しいお札への関心の高さが窺えました。

（お札と切手の博物館）



Ⅲ-3-⑮ お札のタペストリー展示

区民が北区ゆかりの偉人渋沢栄一翁が新一万円札の肖像となること及び、その新一万円札を印刷する工場が東京で唯一北区にあることに誇りを持つことを目的として、タペストリー展示を区内各所で実施した。

【実施場所】区民まつり(飛鳥山公園内)、児童館まつり(志茂子ども交流館、桐ヶ丘児童館、東十条東児童館、袋児童館、豊島児童館、浮間子ども・ティーンズセンター、田端児童館)、ココキタまつり



区民まつり北区ブース

同日、国立印刷局東京工場構内で展示室見学や紙漉き体験等を実施



桐ヶ丘児童館



豊島児童館

Ⅲ-3-⑬ 渋沢栄一街中史料館

渋沢史料館の休館中も、渋沢栄一翁の功績や北区との関わりなどをやさしく紹介したパネル展を実施。

【実施期間】 令和5(2023)年12月1日(金)～
令和6(2024)年1月31日(水)
令和6(2024)年3月16日(土)～18日(月)

【主 催】 きたシティ・いい店&老舗の会

【実施場所】 北とぴあ17階

【来場者数】 推定 2,300名

(チラシ配布数・人的巡回推定)



担当の声

プロジェクトスタート時期、渋沢史料館休館中もあり実施。翌年3月・100日前フェスティバルin赤羽に参画。15年来の渋沢栄一グランド・オール・マンをシルエットで提唱。

(きたシティ 桐生様)



赤羽 赤羽西口駅前ビビオ&イトーヨーカドーに
我が街の偉人グランド・オール・マン現る！

3/16・17・18の3日間
渋沢x北区 新一万円札発行
100日前フェスティバル in 赤羽

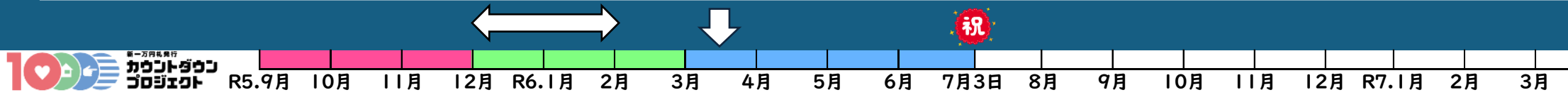
開催！

- ゆかりの各地からの物産展
〈会〉イトーヨーカドー 1F
- 音楽&ダンス、紙のデモンストレーション
〈会〉ビビオ七福神広場で土日開催
- 渋沢栄一をもっと知ろう！
「街中史料館」パネル展 〈会〉ビビオ 1F

主催：東京都北区／カウントダウンプロジェクト推進協議会



新一万円札発行100日前フェスティバル in赤羽で実施された渋沢栄一街中史料館の様子



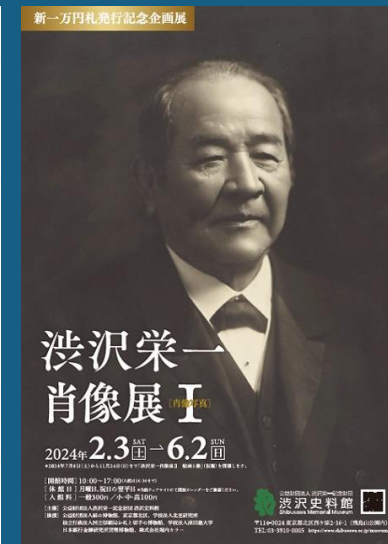
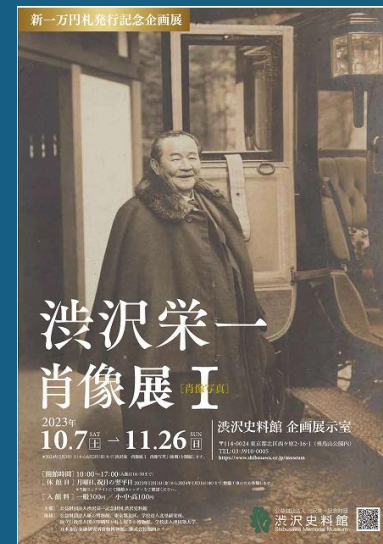
Ⅲ-3-⑰ 渋沢栄一 肖像展Ⅰ・⑱ ミニ出前講演会

■ 渋沢栄一 肖像展Ⅰ

期間中の毎週土曜日、日曜日は「かお見世トーク」が実施され、渋沢史料館の館長と副館長が渋沢栄一翁について語るイベントも実施された。

【実施期間】

令和5(2023)年10月7日(土)～令和5(2023)年11月26日(日)まで
令和6(2024)年 2月3日(土)～令和6(2024)年 6月 2日(日)まで



■ ミニ出前講演会

渋沢栄一クイズラリーの出題者・渋沢史料館井上顧問がクイズが楽しくなる、難問を解くカギなどを地域でやさしく解説するものとして開催された。

【実施日】 令和5(2023)年11月5日(土)15時～16時30分

【会 場】 Trattoria MINORI(北区王子1-22-7)

【主 催】 タウン紙 きたシティ制作室・王子飛鳥山界限 いい店&老舗の会

祝 クイズラリー10回記念！
来年新1万円札発行になる

我が街の偉人
グランド・オールド・マン **渋沢栄一**

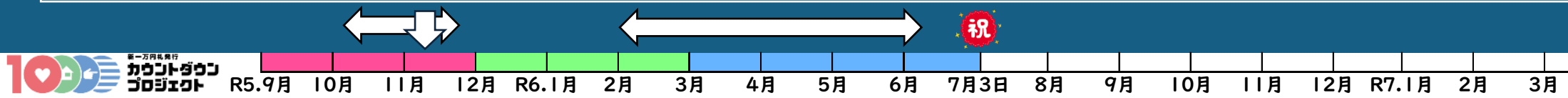
クイズが楽しくなる、
難問を解くカギなど解説！

ミニ出前講演会

講演者：渋沢史料館 顧問 井上潤氏
日 時：11月25日(土) 15:00-16:30
会 場：Trattoria MINORI (北区王子1-22-7)
会 費：2800円 税込 (軽食・1ドリンク付)
※参加費予約制 11/20迄。定員になり次第締切

渋沢栄一クイズラリーの出題者・渋沢史料館 井上顧問が地域でやさしく解説するミニ講演会です。内容は、パネル展『渋沢栄一 181歳の生涯とその事業』やクイズの解説等。質疑応答歓迎。

主催：タウン紙 きたシティ制作室・王子飛鳥山界限 いい店&老舗の会
お申込みは、きたシティ制作室
電話・FAX 03-3943-1790 メール y.kita-city@nifty.com



Ⅲ-3-⑱ 志茂四丁目町会会館完成記念文化講演会

■ 志茂四丁目町会会館完成記念文化講演会

地域の会場で地域の方が集まり、渋沢栄一翁の生き方を学ぶことで、北区全体へ、より広く渋沢翁に興味・関心を持つ人を増やし、「渋沢＝北区」のシビックプライド醸成を図るものとして開催された。

【実施日】

令和6(2024)年1月20日(土)

【会場】

新・志茂四丁目会館

【講演内容】

「渋沢栄一の生き方に学ぶ」 講師：渋沢史料館 井上顧問



講師の声

新しく完成した地域のコミュニティセンターに集った方々が、グローバルな視野の下で数多くの事業展開をはかった世界的な偉人としての渋沢栄一に触れると同時に、`地域・地方が元気でなければ国自体は元気にならない、という考えも持ち、王子・飛鳥山を中心とした現在の北区の活性化のためにも数々の提言をし、熱いまなざしを向けていた渋沢のメッセージをしっかりと受けとめ、地域の発展を考える良きひと時となりました。

(渋沢栄一記念財団 業務執行理事 井上様)



Ⅲ-3-⑳起業家育成プロジェクト

起業プランや社会課題の解決策を考えるグループワークや経営者による講演会を通じて、渋沢栄一翁の思想や功績を学んでもらうことを目的として実施した。令和4年度は順天高校で実施し、令和5年度は区立小中学校、順天高校にて実施。より早い段階から起業や渋沢翁の功績等を考える機会に触れることで、子どもたちが近代日本社会の礎を作った渋沢翁が北区で後半生を過ごしたことを知ってもらうことを目的とした。

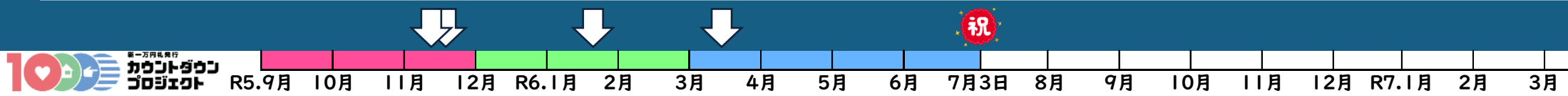
【実施スケジュール】

令和5(2023)年11月10日(金) 区立王子第二小学校(6年生)

令和5(2023)年11月14日(火) 順天高校

令和6(2024)年1月26日(金) 区立飛鳥中学校(2年生)

令和6(2024)年3月5日(火)～7日(木) 区立田端中学校(3年生)



Ⅲ-3-②出張授業

北区の子どもたちがお札の製造工程を学ぶとともに、新一万円札の肖像が渋沢栄一翁であり、その渋沢翁の功績や晩年を北区で過ごしたことを知るきっかけとするために実施した。また、新紙幣が北区で製造されていることを伝え、北区に住んでいることへのプライドの醸成を目的とした。

【主催】

国立印刷局

【実施スケジュール】

令和5(2023)年11月8日(水) 区立王子第一小学校

令和5(2023)年12月4日(月) 区立梅木小学校



担当の声

国立印刷局は、北区に2つの工場と博物館をもっています。また、新しい一万円札の肖像が渋沢栄一であることから、北区はゆかりが深い土地です。そんな北区の小学生にお札の製造工程や偽造防止技術に関する授業を行わせていただき、大変光栄でした。お札が生まれる街に住んでいることを誇りに思っていたいただければ嬉しいです。

(国立印刷局)



Ⅲ-4-①株式会社旺栄 “おさつのお札パン” などの開発・販売

株式会社旺栄は区内に構える事業者で、渋谷逸品TSUNAGUmarchéを拠点に、渋谷栄一翁の理念や精神を一人でも多くの人に伝えていこうという思いから、渋谷翁にまつわる品々を販売している。今回は、新一万円札発行の機運醸成および地方創生を図るため、日本初新一万円札“おさつのお札パン”などを開発、販売した。新一万円札以外にも新五千円札、新千円札のお札パンも販売している。



担当の声

「お札がうまれる街、北区」の商品として認知拡大をすることができました。

(株式会社旺栄 事業戦略部 鈴木様)



Ⅲ-4-②城北信用金庫 しぶさわくん支店がオープン

区内に本部を構える城北信用金庫が、王子営業部王子銀座出張所を通称「しぶさわくん支店」としてリニューアルオープンした。店舗の外装や内装がしぶさわくん一色になり、オープン当日はしぶさわくんベビーステラの販売や、しぶさわくんグリーティングを実施するなど、大変賑わいを見せた。

【オープン日】令和6(2024)年5月15日(水)



提供：城北信用金庫



担当の声

しぶさわくんファンのお子さんや、「地域への取り組みに感動した」と契約に来てくださるお客さまなど多くの方にご来店いただきました。7月3日の新紙幣発行日は全国区のメディアにも取り上げられ、来店客数は通常日に比べ約10倍と大きな反響をいただき大変嬉しく思います。

(城北信用金庫 コミュニケーション開発事業部 溝口様)



Ⅲ-4-③大日本印刷株式会社 本づくりのひみつワークショップ

区内に製造拠点を構える事業者で、印刷のみならずエレクトロニクスや医薬品など幅広い領域を手掛ける大日本印刷株式会社と連携し、夏休みの小学生向けにワークショップを開催した。本がどのような工夫をしてできているか、印刷が色をどのような仕組みで表現しているか、実際にリング綴じのノートをつくりながら学んだ。

【実施スケジュール】

令和6(2024)年8月9日(金)

第1回 午前10時半～11時15分

第2回 午後1時半～2時15分

第3回 午後3時～3時45分

【実施場所】中央図書館3階ホール 【参加人数】27名



担当の声

参加者の皆様にとっても興味を持って頂き、楽しく進めることが出来ました！

(大日本印刷株式会社 マーケティング本部
ソーシャルイノベーション研究所
CSV東日本企画部)



祝



Ⅲ-4-④株式会社読売プリントメディア 工場見学会

株式会社読売プリントメディアは区内に本社を構える事業者で、読売新聞朝刊、夕刊、スポーツ報知を中心に様々な媒体を印刷している。区内には印刷文化を伝える施設が多数ある中で、印刷の歴史を学べるよう工場見学会を3回実施した。

【実施スケジュール】

- 1回目：令和6(2024)年8月22日(木)
- 2回目：令和6(2024)年9月28日(土)
- 3回目：令和6(2024)年10月26日(土)



担当の声

幅広い年齢層の方々に参加していただけて楽しかったと好評でした。

(株式会社読売プリントメディア 東京北工場)



Ⅲ-5-①地域振興部提案事業

■アジア諸国統計研修生に「渋谷ツアー」

地域振興課の統計調査係では例年9月にアジア諸国統計研修生を受け入れ、北区における統計業務等の研修を実施している。本プロジェクトの一環として「渋谷ツアー」を実施し、渋谷翁に関連する施設を案内し、研修生に北区の魅力と渋谷翁の功績を発信した。飛鳥山公園内にある「shibusawa hat れすとらん館・エプロンマーク」ではハラル料理をご準備いただき、研修生全員が食事を楽しむことができた。

【実施日】

令和6(2024)年9月5日(木)

【参加人数】15名



事業者の声

皆さま喜んでくださり私達にとっても貴重な時間になりました。

(shibusawa hat れすとらん館・エプロンマーク)



Ⅲ-5-②区民部提案事業

■区民事務所等の窓口封筒にしぶさわくんイラストを活用

区民事務所・戸籍係で区民に手交する広告入り窓口封筒に、しぶさわくんのイラストを活用することで、「渋谷＝北区」をより一層印象づけることを目的として実施した。

【実施】令和6(2024)年6月頃より開始。



担当の声

初めて北区に引っ越してきた方に「渋谷＝北区」を知ってもらう良い機会となりました。(戸籍住民課)

お待ちしております。
内容をよくご確認ください。

窓口封筒

コンビニ交付
全国のコンビニエンスストア等のマルチコピー機で以下の証明書が取得できます！

コンビニ交付できる証明書	手数料	利用日・時間
住民票の写し マイナンバーカード・個人事項の記載はできません。	1通 200円 (窓口にて100円お得です)	毎日(年末年始、メンテナンス日を除く) 午前6時30分～午後11時
印鑑登録証明書	1通350円 (窓口にて100円お得です)	月曜日から金曜日まで (祝日、年末年始及びメンテナンス日を除く)
課税・非課税証明書 (直近2年度分)	1通200円 (窓口にて100円お得です)	午前9時～午後5時
戸籍全部・個人事項証明書	1通350円 (窓口にて100円お得です)	月曜日から金曜日まで (祝日、年末年始及びメンテナンス日を除く)
戸籍の附票の写し	1通200円 (窓口にて100円お得です)	午前9時～午後5時

必要なもの
利用者証明用電子証明書
マイナンバーカード
及び暗証番号

※マイナンバーカードをお持ちでない方はぜひご申請ください。
マイナンバーカードの申請書は区民部窓口または
個人番号カード交付係(北區役所第二庁舎4階 電話03-3908-1329)に
お問い合わせください。
※暗証番号を忘れた方、または暗証番号を忘れた方は区民部窓口で
お手続きください。(区民部窓口にて、暗証番号を
※戸籍の証明は、北区に住民登録のない方は、事前にマルチコピー機等で、
利用登録を行う必要があります。利用登録には約5日要します。

証明書の
取得方法はこちら

■区民税税額通知用封筒にカウントダウンプロジェクトのロゴを活用

区民税税額通知用封筒に、本プロジェクトのロゴ及び特設ページのURLを掲載し、プロジェクトの周知を図った。

【実施】令和6(2024)年5月頃より開始。



担当の声

区民だけでなく、区外を含む事業者にも送付するため、広くプロジェクトの周知を行うことができました。(封筒使用実績 年間約200,000枚)

(税務課)

新一万円札発行
**カウント
ダウン
プロジェクト**

特別区民税・都民税特別徴収税額通知書 在中
Residence tax notice
※給与事務取扱担当の方が直接ご開封ください

料金後納
郵便

北区
区民部税務課
東京都北区王子本町1-15-22 (〒114-8508)
Tel 03 (3908) 1113 (課税直通)

Kita City Office

本通知書を受け取られた方が、記載の宛名にお心当たりのない場合、郵便物を開封せず、裏面に顔配連である旨を記載した付せん等を貼っていただき、郵便ポストに投函するか、顔配連があったことを最寄りの郵便局等へご連絡ください。

祝

Ⅲ-5-③生活環境部提案事業/④福祉部提案事業

■(生活環境部)直営清掃車両をラッピング

清掃車両に新一万円札のイラストをラッピングした。区内のごみ収集作業で使用し、区外の清掃工場へ搬入するため、区内・区外へのアピールにつながった。

【実施日】令和5(2023)年12月28日(木)より開始。



担当の声

新一万円札の発行と清掃事業のPRにつながった。

(北区清掃事務所)



■(福祉部)しぶさわくん一日民生児童委員に就任～コラボグッズでPR～

「民生委員・児童委員の日」に飛鳥山公園で民生委員・児童委員活動PRイベントを開催した。しぶさわくんは一日民生児童委員に就任し、民生児童委員イメージキャラクター「ミンジー」とのコラボグッズを配布するなど、公園を訪れた人々に活動をPRした。

【実施日】令和6(2024)年5月12日(日)



担当の声

しぶさわくんの登場に子どもたちは大喜び！幅広い世代に届くPR活動となりました。(地域福祉課)



Ⅲ-5-⑤子ども未来部提案事業

■しぶさわくんのぬり絵作成

子どもたちがぬり絵をしながら、渋沢翁について学ぶことができ、渋沢翁への興味関心を持つ子どもを増やすことを目的として実施した。ぬり絵はPDFデータとして、区ホームページからダウンロードできるようにした。

令和6(2024)年2月に田端児童館で実施されたたばとんまつりでは、しぶさわくんが登場し、子どもたちと一緒にぬり絵を楽しんだ。

【実施日】

令和6(2024)年2月3日(土)



担当の声

巨大ぬり絵を楽しんだ後は、しぶさわくんの写真撮影を満喫！しぶさわくんがとても印象に残ったようです。

(子どもわくわく課)



Ⅲ-5-⑥まちづくり部提案事業/⑦土木部提案事業

■(まちづくり部)狭あい道路整備済みプレートにしぶさわくんを活用

狭あい道路等拡幅整備事業にご協力いただいた建築主・土地所有者の敷地にプレートを設置しているが、令和6年度に設置する物件からしぶさわくんを活用したデザインに変更した。

【実施日】令和6年度に設置する物件から開始。



担当の声

元々の桜のデザインをしぶさわくんデザインへ変更する際、発注会社へ何種類ものデザインを試作していただき、吟味を重ね、ようやく完成できたので、嬉しかったです。ぜひ「しぶさわくんプレート」を見つけてみてください！(建築課)

■(土木部)渋沢栄一翁ゆかりの地を回遊しよう #AR渋沢栄一と一緒に

QRコードを読み取ってスマホにかざすだけで、渋沢翁ゆかりの地を巡っているような写真撮影が楽しめる。

【実施日】令和6(2024)年6月1日(土)～7月31日(水)



担当の声

期間中、約800件のアクセスがありました。渋沢栄一翁が遺してくれた訓言を大勢の方に伝えることが出来ました。(道路公園課)

Ⅲ-5-⑧教育振興部提案事業

■青淵義塾上級編 ～北区渋沢栄一ガイドマップを作ろう～

令和4年度から渋沢翁の号を冠した「青淵義塾」を開催。令和4年度は「初級編」「中級編」、令和5年度はカウントダウンプロジェクトの一環として区民が主体的に参画・提案する「上級編」講座を実施。3グループに分かれて、それぞれ「北区」「渋沢栄一」をテーマにユニークなマップづくりを展開した。

【実施日】令和5(2023)年12月7日(木)～令和6(2024)年2月8日(木)



渋沢栄一ゆかりの人物マップ



渋沢栄一産業遺産マップ



渋沢栄一福祉事業マップ



担当の声

渋沢栄一をとにかく愛し、リスペクトしている区民が集結。開催日以外にもグループ毎に集まって下見や制作を行い、熱い思いがこもった「渋沢栄一福祉事業マップ」「渋沢栄一ゆかりの人物マップ」「渋沢栄一産業遺産マップ」が完成いたしました。(生涯学習・学校地域連携課)



Ⅲ-5-⑧教育振興部提案事業

■学習用端末(きたコン)の壁紙にしぶさわくんを活用

区立小・中学生に1人1台配布されている学習用端末(きたコン)の壁紙にしぶさわくんを活用した。子どもたちが毎日目にすることで「渋谷＝北区」を根付かせ、シビックプライドの醸成を目的として実施した。

【実施日】 令和5(2023)度から順次実施。



担当の声

渋谷＝北区が定着するよう、毎日使うきたコンの壁紙を活用しました。(学び未来課)



■プログラミング教材(きたらっち)でゲーム作成

区立小・中学校に1人1台配布されている学習用端末(きたコン)でのコンテンツに、渋谷翁のイラストを活用したゲームを用意し、小中学校の児童・生徒をはじめ教職員の皆さまにも、渋谷翁を身近に感じてもらうことを目的として実施した。

【実施日】

令和5(2023)年度から順次実施。

タイピングゲーム



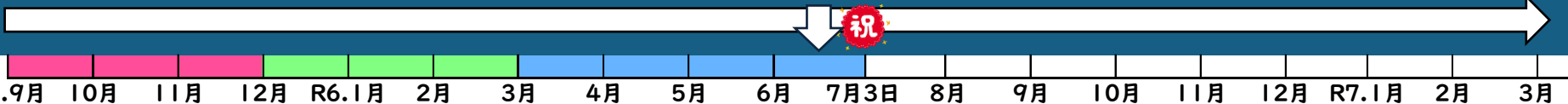
■渋谷庭園と古河庭園の魅力発見

渋谷栄一郎と古河虎之助邸の2つの近代庭園を見比べる解説会を実施した。

【実施日】

解説会 令和6(2024)6月22日(土) 【参加人数】 20名

パネル展示 令和6(2024)6月22日(土)～23日(日) 【来場者】 300名



Ⅲ-5-⑧教育振興部提案事業

■図書館で新紙幣及び渋沢翁関連図書・新聞・パネル展示

中央図書館で、新紙幣及び渋沢翁関連の図書やパネル展示を行うとともに、講座を実施した。

【実施日】

○キーンコレクション関連パネル展示

「ドナルド・キーンと渋沢栄一『続百代の過客』で読む「航西日記」パネル展」

令和6(2024)年5月24日(金)～7月24日(水)

○渋沢関連講演会 「渋沢栄一と子どもたち」

令和6(2024)年7月6日(土)

○一般・児童図書展示

一般向け展示「お札とお札になった人々」

児童向け展示「日本経済界の父・飛鳥山と縁が深い渋沢栄一がお札になった！」

令和6(2024)年6月1日(土)～7月24日(水)



担当の声

様々な角度から渋沢翁と紙幣について紹介。新旧紙幣の現物展示が好評でした。(中央図書館)



Ⅲ-5-⑨各課実施事業

■二十歳(はたち)のつどい(生涯学習・学校地域連携課)

しぶさわくんが旧古河庭園と式典会場である北とぴあに駆け付けた。新成人との写真撮影を行った。

【実施期間】 令和6(2024)年 1月8日(月)



■東京都北区SDGs推進企業認証制度(産業振興課)

「持続可能な経済の発展は道理・道徳を伴うべき」と説いた渋沢栄一の理念・功績はSDGsに通じるとされており、SDGsの理念を尊重し、事業を通じてSDGs達成への積極的かつ継続的な取組みを実践する企業等を「東京都北区SDGs推進企業」として認証した。

【実施日】 令和5(2023)年 7月3日(月)令和5年度募集開始

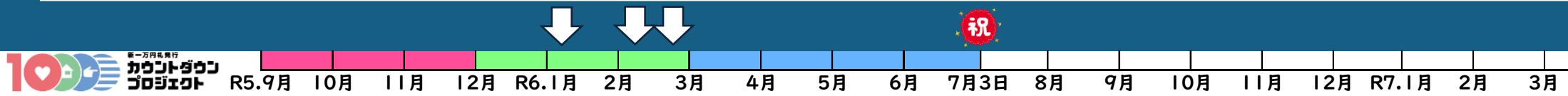
令和6(2024)年 2月6日(火)北区SDGs推進企業認証式



■高齢者向けスマートフォン交流会(長寿支援課)

会場で「しぶさわくんの唄」を流し健康づくり総合アプリ「あるきた」の機能を学ぶデモウォーキングでは、「渋沢栄一翁コース」を使用した。あわせて、しぶさわくんイラスト入りのクリアファイルを配布した。

【実施期間】 令和6(2024)年 2月21日(水)



Ⅲ-5-⑨各課実施事業

■ 渋沢翁顕彰事業助成(シティブランディング戦略課)

渋沢翁の功績を広めるための公益性の高い事業を実施した事業者に助成金を交付する。渋沢翁を核とした、北区のシティプロモーションを推進することを目的として実施した。

【実施期間】

- ①令和5(2023)年5月28日(日) 渋沢さんのプチ園遊会～令和5年の春～
- ②令和5(2023)年10月15日(日) 渋沢翁Ohまつり
- ③令和5(2023)年11月11日(土)、令和6(2024)年3月16日(土) 渋沢栄一ご当地！！朗読ワークショップ
- ④令和5(2023)年12月10日(日) あかばねっこ部「こどもえんにち」事業
- ⑤令和5(2023)年12月24日(日) 北区・深谷市 中学生ラグビー親睦交流試合
- ⑥令和5(2023)年12月26日(火)、27日(水) 観て、演じて知ろう！渋沢栄一物語！
- ⑦令和6(2024)年1月30日(火) 飛鳥山150周年「渋沢栄一60歳からの青春」
- ⑧令和6(2024)年3月末より配布開始 英語版日本語入り「桜名所の飛鳥山&洋紙発祥の地王子」観光マップ



Ⅲ-5-⑨各課実施事業

■ 渋沢翁関連商品等開発事業助成(産業振興課)

北区物産の魅力を区内外に発信するために行う、渋沢栄一翁にちなんだ新しい商品の開発(販売・サービスに係る経費も含む)に対して助成金を交付した。渋沢翁顕彰事業助成(シティブランディング戦略課)と合わせて、渋沢翁を核とした北区のシティプロモーションの推進及び産業の活性化に資することを目的として実施した。

【渋沢翁関連商品等開発事業助成】(一部)



渋沢翁クッキー缶



渋沢栄一翁デザイン折り紙食器 beak



渋沢翁偉業紹介和紙ファイル



渋沢翁イメージアップサイクル商品
(ブックカバー&しおり)

令和5年度助成事業の一部について

Ⅲ-5-⑨各課実施事業

■あるきた×渋沢栄一 ポイント2倍キャンペーン(健康政策課)

健康づくり総合アプリ「あるきた」の「渋沢栄一翁コース」を制覇すると、獲得できるポイントが2倍になるキャンペーンを実施した。

【実施期間】 令和6(2024)年 4月1日(月)～15日(月)

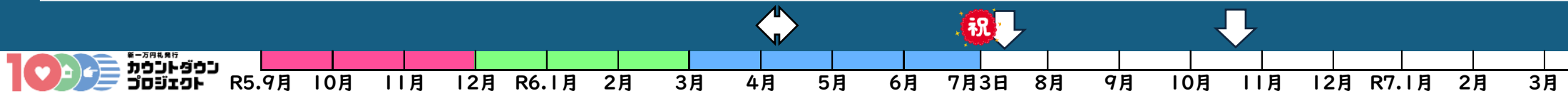
■投票済証にしぶさわくんイラストを活用(選挙管理委員会事務局)

しぶさわくんイラストを活用することで、「渋沢＝北区」を根付かせることを目的として実施した。

【実施期間】 令和5(2023)年 4月(北区議会議員選挙・北区長選挙)

令和6(2024)年 7月(東京都知事選挙・東京都議会議員補欠選挙)

令和6(2024)年10月(衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査)



Ⅲ-5-⑨各課実施事業

■区役所第二庁舎を青くライトアップ(しごと連携担当課)

東京商工会議所は東京タワーを渋沢翁ゆかりの藍玉をモチーフとして藍色にライトアップすることに合わせて、区役所の第二庁舎を青くライトアップした。

【実施期間】 令和6(2024)年 11月11日(月) 17時15分～21時



■北海道清水町での森林整備体験学習(環境課)

渋沢栄一ゆかりの地である北海道清水町で、区内在住・在学の小学5、6年生を対象に、植樹体験や地元の子どもたちと交流を図りながら、森林の重要性を学ぶ「森林整備体験学習」を実施した。

【実施期間】 令和6(2024)年 7月13日(土)～15日(月) 2泊3日

Ⅲ-5-⑨各課実施事業

■「渋谷 × 北区 新一万円札発行100日前フェスティバル」 日テレ・東京ヴェルディベレーザ 対 セレッソ大阪ヤンマーレディース (スポーツ推進課)

北区スポーツ大使で、女子プロサッカーチームの日テレ・東京ヴェルディベレーザが「渋谷 × 北区 新一万円札発行100日前フェスティバル」としてホームゲームを実施した。

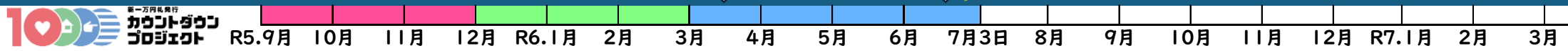
【実施期間】 令和6(2024)年3月16日(土)



■アジア選手権大会 兼 世界選手権アジア大陸予選会 日本代表選手選考会 【卓球競技】閉会式 やまだ北区長らから優勝者へ、しぶさわグッズを贈呈(スポーツ推進課)

新一万円札の発行を7月3日に控え、閉会式で、やまだ北区長と東京北区渋谷栄一プロジェクト広報キャラクター「しぶさわくん」から優勝者へ、北区ゆかりの渋谷栄一翁のお札タオルとぬいぐるみを贈呈した。

【実施期間】 令和6(2024)年6月21日(金)



Ⅲ-6.情報発信

■新一万円札発行カウントダウンプロジェクト特設HP 開設

本プロジェクトに関する情報を集約し、区内外へ広く発信を行った。連携する多様な主体の取組みについてもPRする媒体として活用した。

【掲載内容】

本プロジェクト事業情報、「しぶさわくんの唄」YouTube動画(ダンス振付ver、盆踊り振付ver含む)、区民アイデア募集・結果、連携団体・自治体情報など

【開設日】

令和5(2023)年10月24日(火)



■カウントダウンタイマー設置・SNSによる発信

令和5(2023)年12月28日(木)、新一万円札発行に向けて、区内各所にカウントダウンタイマーを設置し、カウントダウンをスタートした。いよいよ新一万円札発行が近づく高揚感を高め、北区全体で盛り上がっていきけるよう、「渋沢栄一の新一万円札発行まで残り〇〇日」の表示をSNSで積極的に発信した。

【カウントダウンタイマー設置場所】

区役所第一庁舎 1 階、JR 王子駅(北口)、JR 赤羽駅(北改札口みどりの窓口前)、JR 田端駅(北口)、お札と切手の博物館、国立印刷局東京工場



Ⅲ-6.情報発信

■北区ニュース

本プロジェクトの取組みだけではなく、紙幣の仕組みや、肖像の決め方などの雑学を国立印刷局と連携して掲載し、新一万円札発行までの機運醸成を行った。令和6年1/1新年号新春特別企画として、北区アンバサダーとして活躍されている水森かおりさんと、やまだ区長が北区での思い出や新一万円札の発行について対談した企画が掲載された。また、新一万円札発行直前の7/1号では、表紙で渋沢栄一が肖像の新一万円札発行をお祝いするとともに、道路の愛称を選ぶアンケート(後に「渋沢通り」と決定)について周知した。



■のぼり・懸垂幕

新一万円札の発行が7月3日に決定したことに併せて、懸垂幕とのぼりを作成し、区内各所で掲出した。

【懸垂幕設置場所】

区役所第二庁舎、ショッピングセンタービビオ、イトーヨーカドー赤羽店

【のぼり設置場所】

飛鳥山公園、北区観光協会、国立印刷局(東京工場・王子工場)、お札と切手の博物館、東京商工会議所北支部、読売プリントメディア入口、ココキタ、城北信用金庫(北区内有人店舗)、尾久駅前観光PRコーナー、VIEW&KITCHEN QUAD17、田端文士村記念館、赤羽西口商店街



イトーヨーカドー赤羽店



飛鳥山公園

Ⅲ-6.情報発信

■デジタルサイネージ

区施設のデジタルサイネージに加えて、区民が多く行き交う民間商業施設等のデジタルサイネージと連携して、広く本プロジェクトの情報を発信した。

<掲載個所>

- ①ビビオ1F エスカレーター前②イオンスタイル赤羽店1階フロア③区役所第一庁舎1F正面玄関ホール④区役所第二庁舎1F区民待合いスペース⑤城北信用金庫 梶原支店⑥アピレ正面入口、南口入口

<掲出内容>

- ①カウントダウンプロジェクトHPから実施中のイベント案内等
- ②東京商工会議所製作の動画



ビビオ 1F エスカレーター前



イオンスタイル赤羽店 1階フロア

■しぶさわくんの唄

北区アンバサダーの水森かおり氏が歌う「しぶさわくんの唄」を庁内で月初めに放送する区長の朝の挨拶時や区内の商店街で流し、機運醸成を図った。

しぶさわくんの唄は、2024年に新一万円札の顔となる渋沢翁をより知ってもらうため、北区を更に盛り上げる地域の歌として誕生した。



IV.メディア掲載実績

- 
- 1 TV
 - 2 新聞
 - 3 冊子
 - 4 その他

No.	放送日	取材主	番組名
1	11月13日	MXテレビ	TOKYO MX NEWS
2	令和6年 2月1日～29日	J:COM	長々と散歩
3	4月11日	NHK	首都圏ネットワーク
4	5月11日・18日	テレビ東京	モヤモヤさまぁ〜ず2
5	6月19日	テレビ朝日	ANNnewsCH
6	6月22日	日本テレビ	SHOWチャンネル大人の 社会科見学SP
7	6月24日	BSよしもと	キクテレミルラジ265
8	6月25日	MXテレビ	TOKYO MX news FLAG
9	6月27日	NHK	首都圏ネットワーク
10	6月29日	テレビ朝日	グッドモーニング
11	7月	J:COM	北区広報番組

No.	放送日	取材主	番組名
12	7月2日	NHK	ニュースウォッチ9
13	7月2日	日本テレビ	news every.
14	7月3日	日本テレビ	news every.
15	7月20日	MXテレビ	中小企業の底ヂカラ
16	8月10日	日本テレビ	ぶらり途中下車の旅
17	9月29日	日本テレビ	シューイチ
18	12月14日	日本テレビ	ミチガタリ!

IV-2.新聞

No.	掲載日	掲載紙	No.	掲載日	掲載紙
1	10月6日	都政新報(カウントダウンプロジェクト始動)	16	4月12日	朝日新聞(渋沢栄一肖像展Ⅰ)
2	11月10日	朝日新聞(企画公募)	17	4月12日	毎日新聞(渋沢栄一肖像展Ⅰ)
3	11月11日	毎日新聞(藍のライトアップ)	18	4月16日	読売新聞(お札パン)
4	11月18日	読売新聞(藍のライトアップ)	19	5月1日	東京新聞(渋沢栄一肖像展Ⅰ)
5	12月21日	読売新聞(ReHacQ観覧者募集)	20	5月7日	日経新聞(渋沢逸品館)
6	12月22日	都政新報(しぶさわくんが大発会で打鐘)	21	5月8日	読売新聞(紙の博物館 企画展)
7	12月24日	毎日新聞(渋沢栄一街中史料館)	22	5月16日	朝日新聞(しぶさわくん支店オープン)
8	12月31日	朝日新聞(カウントダウンタイマー)	23	5月16日	東京新聞(しぶさわくん支店オープン)
9	12月31日	読売新聞(しぶさわくんが大発会で鐘を鳴らす)	24	5月17日	読売新聞(しぶさわくん支店オープン)
10	令和6年1月4日	日本経済新聞(しぶさわくんが大発会に参加)	25	5月28日	朝日新聞(渋沢栄一肖像展Ⅰ)
11	1月4日	東京新聞(しぶさわくんが大発会に参加)	26	6月5日	東京新聞(クラウドファンディング)
12	1月9日	毎日新聞(区民アイデア募集の投票)	27	6月8日	朝日新聞(カウントダウンプロジェクト)
13	1月13日	読売新聞(区民アイデア募集の投票)	28	6月17日	産経新聞(飛栄)
14	2月14日	東京新聞(渋沢栄一にちなんだ学校給食)	29	6月23日	上毛新聞(プロジェクトマッピング)
15	2月25日	読売新聞(ぬり絵で学ぶ渋沢栄一)	30	6月25日	朝日新聞(お札パン)

IV-2.新聞

No.	掲載日	掲載紙
31	6月28日	毎日新聞(お札と切手の博物館)
32	6月30日	産経新聞(クラウドファンディング)
33	7月1日	毎日新聞(城北信用金庫7/3イベント)
34	7月1日	毎日新聞(深谷市イベント：紙幣の顔になる偉人たち)
35	7月3日	産経新聞(お札パン)
36	7月4日	産経新聞(新一万円札発行記念セレモニー)
37	7月4日	東京新聞(新一万円札発行記念セレモニー、 渋沢給食)
38	7月4日	読売新聞(新一万円札発行記念セレモニー)
39	7月4日	朝日新聞(新一万円札発行記念セレモニー)
40	7月12日	朝日新聞(渋沢通り)
41	8月27日	朝日新聞(しぶさわくんFM)
42	8月31日	毎日新聞(渋沢栄一肖像展Ⅱ)

No.	掲載日	掲載紙
43	11月12日	産経新聞(渋沢通り)
44	11月13日	読売新聞(渋沢通り)
45	11月13日	東京新聞(渋沢栄一肖像展Ⅱ)
46	令和7年1月20日	朝日新聞(渋沢通り)

IV-3.冊子

No.	出版日	取材主	書誌名
1	3月7日	るるぶ	るるぶ 東京' 25
2	6月3日	都市出版株式会社	東京人 新札肖像の偉人たち

IV-4.その他

No.	出版日等	取材主	書誌名
1	11月	きたシティ	タウン紙「きたシティ」
2	11月		商工通信「新しい風」No.129
3	令和6年3月	きたシティ	タウン紙「きたシティ」
4	4月		区政会館だより 4月号 No.409
5	4月	北区教育委員会	くおん 103号
6	6月	きたシティ	タウン紙「きたシティ」
7	6月	NPO法人 うきま.jp	YouTubeチャンネル
8	7月		商工通信「新しい風」No.131
9	10月	北区教育委員会	くおん 105号
10	10月	東京都学校給食会	とうきょうとの学校給食 No.467
11	11月	きたシティ	タウン紙「きたシティ」
12	令和7年1月	きたシティ	タウン紙「きたシティ」

V.総括

北区では、平成31(2019)年4月に北区ゆかりの偉人である渋沢栄一翁が新紙幣の肖像となることが決定したことに伴い、北区の知名度向上とイメージアップへと繋げていくことを目的として、令和元(2019)年5月に「東京北区渋沢栄一プロジェクト」が発足しました。

その後、新紙幣の発行が令和6(2024)年7月3日に決定し、発行開始までのおよそ1年間、渋沢翁ゆかりの全国の自治体や民間企業等との公民連携による「新一万円札発行カウントダウンプロジェクト推進協議会」を立ち上げ、100近くの事業に取り組むことによって、「渋沢＝北区」を広く発信することができたと感じています。

新紙幣発行を迎え、新一万円札発行カウントダウンプロジェクトは一区切りを迎えましたが、渋沢翁が提唱した「公益を追求するという使命や目的を達成するのに最も適した人材と資本を集め、事業を推進させる」という合本主義の精神や、失敗を恐れず、そして変化を恐れず挑戦する心を持って、北区では引き続き民間企業等と協力をして、公民連携をさらに進めていきます。

刊行物登録番号
6-3-069

新一万円札発行カウントダウンプロジェクト事業報告書
令和7年3月発行

発行・編集 北区しごと連携担当室 しごと連携担当課
本書についてのお問合せ

北区しごと連携担当課

114-8508 北区王子本町1丁目15番22号

電話03-3908-1226 FAX03-3905-3421

※本書の無断転載、複写を禁じます。